

# 平成 30 年度 研究計画書

## Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻・講師 言語学・日本語学系域
氏名 Name	山泉実
専門分野 Academic Field	言語学

### 平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	名詞句の認知意味論・認知語用論				
<p>研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words)</p> <p>昨年度、指示参照ファイルによる名詞句の認知意味論・認知語用論の理論の大枠を構築した。今年度は、以下のことを行いたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 構築している理論で以下の具体的な言語現象を分析し、理論を精緻化する：各種コピュラ文（指定文・倒置指定文・第二タイプの指定文・第二タイプの倒置指定文・措定文・同定文・倒置同定文・同一性文・倒置同一性文など）、各種存在文（場所存在文・絶対存在文・帰属存在文・リスト存在文など）、高階の変項名詞句、各種変化文、潜伏疑問文、潜伏命題文、不透明な文脈。</li> <li>2. 上の現象を扱っている他の理論（メンタル・スペース理論、メンタル・ファイル理論など）を精査し、比較対象する。</li> <li>3. ある程度理論構築が進んだ段階で口頭発表を行う。</li> <li>4. 口頭発表のフィードバックも参考に、論文を執筆する。</li> </ol> <p>ただ、既に理論が大規模で、短時間の発表・短い論文には適さないとのコメントもいただいております、ワークショップの開催、モノグラフの執筆なども検討したい。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	言語学	日本語学			
キーワード Keywords*2	Reference file	潜伏疑問	指示	心の理論	